

「Society5.0の世界向け発信事業」について

令和2年2月27日

1. Society5.0世界発信事業の開催目的について

内閣府は、第5期科学技術基本計画の最終年度として、我が国が目指す、科学技術・イノベーションによる2030年ごろの未来社会の姿である「Society5.0」について、目に見える形でアピールする機会として、我が国の有する最先端かつ独創的な科学技術を凝縮した、未来社会を体感できる展示会を開催します。

本事業については、国の主催により、事業効果を最大限に発揮できるよう、研究機関や企業の参画を得て実施すべく、出展者を広く募集します。

2. 開催概要（予定）

名 称：「（仮）Vista of future technologies for SOCIETY5.0 from SKY TREE
～ソサエティ5.0への未来技術展 @スカイツリー」

開催日程：2020年7月15日（水）～2020年7月29日（水）

開催時間：10:00～18:00

会 場：東京スカイツリータウンエリア

主 催：内閣府

入 場 料：無料

搬入設営期間：2020年7月10日（金）から13日（月）まで

搬出時間：2020年7月29日（水）の閉場後、30日（木）まで

3. 出展の申し込み

✓ 申し込み方法

「出展規定」をご確認の上、「出展申込書」に必要事項を記入し提出してください。詳細は以下URLをご確認ください。

https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/20200220society5_0.html

✓ 出展申込書の提出締め切り

一次締め切り：令和2年3月11日（水）

二次締め切り：令和2年3月23日（月）

4. 展示内容のイメージ等

「サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会課題の解決を両立する、人間中心の社会」= 2030年頃の未来社会である「Society5.0」の実現に資する科学技術・イノベーションに関する実機、映像、パネル等（SIP第1期成果を含む）。

5. 広報

- Web、SNSの開設、ポスター・チラシの設置・配布等により多角的に広報展開を推進
- 本事業のロゴ・キャッチフレーズ等による一体感のある展示を企画
- 国、地方公共団体、民間企業の一体による実施体制を構築
- メディア、VIP等の視察ツアーの実施を企画

6. 特徴

The image displays six colored boxes, each containing a key feature of the exhibition. The boxes are arranged in two rows of three. The top row includes: a blue box about information release from Tokyo's IT corridor, a yellow box about global information release, and a purple box about 'Society 5.0' messaging. The bottom row includes: a grey box about cooperation with local governments, a green box about a unified exhibition by national and private entities, and a teal box about active information dissemination by the cabinet.

- ◆魅力あふれる東京スカイツリータウンからの情報発信**
 - 想定期間中に500万人の訪問者を有する施設（昨年度実績）
 - 隅田川、浅草などの観光地に至近で、国内外からあらゆる年齢層の方々の訪問
 - 充実した公共交通機関が立地（羽田空港/成田空港/浅草/大手町/銀座/品川/渋谷/日光・鬼怒川等と鉄道が直結）
- ◆全世界への情報発信**
 - 期間中の来場者見込み：約100万人（多くが、家族連れの一一般の方々。また、約30万人が外国人）
 - 世界各国から約3万人のメディア関係者の来日も見込まれている。
 - こうした来訪者に直接情報発信できる機会を確保
 - 英語によるプレスリリースやイベント等を予定
- ◆「Society 5.0」で実現する未来社会のイメージを発信**
 - 「快適なくらし」、「活かに満ちたくらし」、「質の高いくらし」等の未来社会像ごとにゾーニングし、くらしに関する技術を分かりやすく展示
 - *ゾーニングは出展内容に応じて柔軟に編成予定
- ◆地元自治体との連携・協力体制を確保**
 - 地元自治体による広報やイベント等を実現
 - 地域の方々が主催するイベント等とも連携することによるおもてなし催事を実施予定
- ◆国・研究機関・民間企業による一体展示**
 - 様々な主体による多様な展示により、未来像を産官学で一体的に実現しようとする姿を演出
 - 老若男女、国内外を問わず、あらゆる対象者を引き付ける、魅力ある展示を実現
- ◆内閣府による積極的な広報活動の展開**
 - 内閣府のホームページや政府広報（テレビ、ラジオ、新聞等）等による情報発信を予定
 - 総合科学技術・イノベーション会議（議長：内閣総理大臣）における情報展開を実施

7. 問合せ先

内閣府 政策統括官（科学技術イノベーション担当） 付

社会システム基盤担当： 延原・玉川・平島 電話 03-6257-1335

統合戦略担当： 土屋 電話 03-6257-1169

内閣府共通意見等登録システム：<https://form.cao.go.jp/cstp/opinion-0430.html>

以上